

K O I S U R U K A Z U N O S H I N B U N

大日堂舞楽

恋する鹿角新聞

vol. 07
TAKE FREE

SUPPORTED BY
うまいもんプロデューサー
ユメセン
夢先生
ご当地
ニッポン
応援団
JFAこころのプロジェクト × 鹿角市

祈りの舞。





1300年の受け継がれてきた
神への畏敬の念。

おおひるめむら
正月2日。鹿角市八幡平にある「大日靈貴神社」には、地域の人はもちろん、全国各地から多くの人が押し寄せていた。普段は人気の少ない境内にこれほどの人が押し寄せるのは「大日堂舞楽」が行われるためだ。真冬の早朝から、舞をひと目見ようと訪れた大勢の人たち。厳かな雰囲気と異様な熱気が辺りを包んでいた。

この祭りは国の重要無形民俗文化財であり、ユネスコ無形民俗文化財でもある。八幡平にある4つの集落（大里、小豆沢、谷内、長嶺）の能衆が集結し、それぞれが受け継いできた舞を神様に奉納するお祭りだ。

8時。各集落が大日堂にて出会い、挨拶を交わす「修祓（しゅばつ）の儀」が行われる。いよいよ、祭りが始まった。勢揃いした能衆が大日堂の前で舞を披露する。観衆で溢れかえった本堂の中では、小豆沢の青年などによる初押しが始まった。その勢いで、会場は一気に盛り上がる。各集落の幡が堂内に担ぎ込まれ、幡上げされる。そして、いよいよ本舞が始まる――。

この祭りは1,300年以上の歴史を持つという。これだけ長く受け継がれてきた理由はどこにあるのか。今回はその秘密を紐解いていこう。

【大日堂舞楽】1月2日開催。8時～12時。http://dainichido.p1.bindsite.jp/bugaku/

寅さんサミット

2017 in 柴又

日本の原風景を守り、後世に伝える

秋田県鹿角市も出展!!
「男はつらいよ」のロケ地となった市町村が葛飾区柴又に集まります。

会場 柴又帝釈天／帝釈天参道／
葛飾柴又寅さん記念館／特設会場（葛飾区柴又7-9）

2017.11.25（土）・26（日）
10:00～16:00 荒天の場合一部中止となる場合があります。

寅さんサミット公式HP <http://torasan-summit.jp>

鹿角市 × 四つ木地区 食の交流まつり in 東京 葛飾

ご家族、お友達、みんなでおいしい鹿角の“食”をご堪能ください。

11/25（土）
10:00～15:00
葛飾区立
よつぎ小学校敷地内

- 景品が当たる!! お米計量クイズ
- きりたんぼ無料試食

※学校敷地内につき、会場内での飲酒・喫煙はご遠慮ください。

11/26（日）
13:00～15:30
まいろーど四つ木商店街（まいろーど市）

- 景品が当たる!! お米計量クイズ
- きりたんぼ無料試食

主催／鹿角市都市農村交流事業実行委員会 秋田県鹿角市 後援／よつぎ小学校PTA 鹿角の会

お問い合わせ 秋田県鹿角市役所 農林課 TEL:0186-30-0241



だんぶり長者の伝説は、
大日霊貴神社の成り立ちを語る。

「だんぶり長者」という伝説がある。——昔、出羽国の独鈷村に気立ての良い娘がいた。ある夜、娘の夢に老人が現れ「川上に行けば夫となる男に出会うだろう」と告げた。娘は川上の小豆沢(八幡平小豆沢)で1人の男に出会い夫婦となった。貧しいながら仲睦まじく暮らしていたある年の正月、再び老人が夢に現れ「もっと川上に住めば徳のある人になるだろう」と告げられ、夫婦は川を遡り移り住んだという。ふたりは働き者だった。ある日、夫が野良仕事に疲れてうとうとしていると、一匹のだんぶり(とんぼ)が飛んできて、口に尻尾で2、3度触れた。目を覚ました夫は「不思議なうまい酒を飲んだ」と話し、ふたりはだんぶりの後を追った。すると、飲めばどんな病気も癒される酒が湧く泉を見つけ、これにより夫婦の生活は豊かになり、ふたりは「だんぶり長者」として慕われるようになったという。夫婦の一人娘・秀子は、優しく美しい乙女に成長し、やがて継体天皇に仕えて「吉祥姫」と呼ばれるようになった。両親が亡き後、吉祥姫はふたりのために小豆沢の地に大日社を作った。

「だんぶり長者」は、神を心から信じたふたりを称える、愛の物語である。



秋田県産純真米
鹿角の
萌えみのり

みのりん特設サイト
<http://umaikome.jp/minorin/>

ご飯としての見栄えがよく、艶やかな光沢とほぐれ具合が美しいお米です。また、「はえぬき」や「ひとめぼれ」といった良食味品種の特性を引き継いでいます。

独特の食感がクセになる?!

一粒一粒がしっかりしているが、しっかりとした粘り気があって、ご飯の旨味も充分! 最大の特徴が独特の食感。癖になる、程よい食感です。

いろんな料理に相性ヨシ!

丼物、カレーライス、寿司、チャーハンにも相性がよく、ほかの食材の味を引き立てつつ、ご飯物の食感を活かすメニューにぴったりです。

新しいラインナップをかわりました!

おすすめ! 筒入りのお米

鹿角の萌えみのり 900g筒3本セット
4,011円税込 送料別 (商品コード:MO-1)

鹿角の萌えみのり 1kg鮮度パック
756円(税込) (商品コード:MO-4)

鹿角の萌えみのり 2合パック5個セット
1,543円(税込) (商品コード:MO-5)

鹿角の萌えみのり 3kg袋
1,728円(税込) (商品コード:MO-3)

鹿角の萌えみのり 10kg袋
5,143円(税込) (商品コード:MO-10)

ご注文は
電話またはFAX・メール
ホームページ・郵便で

有限会社 安保金太郎商店
〒018-5201 秋田県鹿角市花輪字赤川端7-3
☎0120(08)2028 FAX0186-25-3317
<http://umaikome.jp/> kintaro@umaikome.jp

店頭販売も
しています

大日堂舞楽

ユネスコ無形文化遺産・重要無形民俗文化財

全国各地にさまざまな祭礼行事が受け継がれ、今もなお大切にされている。だが、その中でもこの「大日堂舞楽」は1300年もの長い歴史を誇る祭りである。年に一度のこの祭りを大切に受け継いできたその理由は、どこにあるのだろうか。

舞を奉納することを前提とした全国的にも珍しい正方形の拝殿を持つ神社

八幡平小豆沢地区。ここに「大日靈貴神社（おおひるめむちじんじや）」がある。この神社は、だんぶり長者の伝説にある通り、吉祥姫が両親を祀るために作ったとされている。継体天皇の時代に建立され、その後の奈良時代、元正天皇の勅命を受けた名僧行基によって再建された。なんだか気が遠くなるような話だ。それこそ伝説とか、神話みたい。

その後も幾度か焼失や再建を繰り返し、現在の拝殿は昭和27年に再建され、本殿は昭和31年に建立された。実は現在宮司を務めている安倍（あんべ）良行さんの祖父が設計したもので、雪による被害を軽減するため洋式も取り入れた屋根の形になったのだという。拝殿の中はとてつもなく高く、天井も高い。神社の建物としては珍しい造りだ。だが、中は薄暗く、見上げると大きな天狗の面が飾られていた。棟上げのときに使われたという矢も巨大。遠目に見ても随所に細かい意匠が施されているのがわかる。拝殿の中央には、二間四方の舞台がある。そこだけが白熱電球で照らされ、空間から浮かび上がっていた。

「こんな造りは、他の神社にはないと思います。宝形造りという造りで、正方形の拝殿になっています。舞台が中央に据えられているのも珍しい」と宮司の安倍さんが教えてくれた。

「この神社はかつてはもつと高台の、山の中にあつたのではないかとされています。書物なども焼失してしまい、確かなことはわかりません。ただ、かつてこのあたりは沼地で、人の住むような場所ではなかったんです。人々は狩猟生活をしていて、水や食料を求めてもつと高台に暮らしていたそうです」。

祭りに関するしきたりなどは集落によっても異なりますが、重要な役割を持つところほど世襲制で守られてきました。今でも祭礼の1週間前から肉は食べないし、盃のやりとりもしない。もちろん、男女の交わりも禁忌です。いわゆる『忌籠る（いみこもる）』けがれたものに触れないように閉じこもる。役割に寄って、その期間は異なります。その儀礼を通して身を清めてから神へ奉納する舞に臨むべきであるということなんですね。この地域に住む者にとって、舞を踊る人たちは神に近い存在だった。だから、地位が与えられたし、経済的な支援もされていたんです」。

受け継ぐべきは、祭りのスタイルではなく祭りの持つ意味と、その心。

しかし明治に入り、その経済的な支援制度がなくなってしまったという。それにより一時期4つの集落が揃わないということも起きた。それぞれの集落のプライドがぶつかり合い、集落同士でのいざこざがあった時期もあるという。時代が変わり、経済状態が変われば、人の心も変わってしまいますからね、と安倍さんは微笑む。

「それでも、受け継いでいかなきゃという気持ちで途絶えることはなかったんです。今では保存会ができて、1年に2回会議を行います。だいたい80人くらいが所属しており、実際の祭礼を行うときは、倍くらいの人手をサポートしています。今は時代的にも、世襲制では継続しづらくなってきました。子どもの数も減ってきており、時代にに応じて柔軟に変化していかないと続けることは難しい。何でもいから続けていく、ということではなく、このお祭りが持つ意味、（その心）を受け継いでいきたいと考えています」。

初めてここを訪れた際、それまで天気が良かったに



拝殿内の高所へも駆けあがれる造りになっており、見上げるとさまざまな装飾物と相まって迫力ある空間を演出している。



拝殿の中央に据え置かれた二間四方の舞台。祭り当日はその周りをぐるりと観衆が取り囲み、熱気に満ちた空間となる。まるでスポットライトのような白熱電球の灯りが舞台を照らし、年に1度、神に捧げる舞が始まるその時を待つ。



淡いエメラルドグリーン屋根が印象的な大日靈貴神社。ちなみに「大日靈貴」とは、天照大御神のことを示す。

大日堂舞楽

国指定重要無形民俗文化財
ユネスコ無形文化遺産

— 千年の時をつむぐ神々の舞い —

二〇二八年 一月二日

秋田県鹿角市 大日靈貴神社
おひるめむちじんじや

大日堂舞楽は、約1300年の歴史を持つ県内最古の舞楽。秋田県鹿角市の八幡平小豆沢地区にある大日靈貴神社で、毎年正月二日に奉納されます。大里、小豆沢、長嶺、谷内の四集落から能衆が集い、神社の社前と殿内で舞楽を奉納しています。

お問い合わせ：秋田県鹿角市(観光担当) TEL 0186-30-0248



権現舞 (小豆沢)

五ノ宮獄の隣にそびえる八森岳に出た龍を鎮めるため、神のお告げにより、獅子頭を奉納したのが始まりとされている。



駒舞 (大里)

竹で繋ぎ合わせて馬をかたどった舞具を身に着け、駒頭を振りながら舞う。全国に伝承されている駒踊りの原型とも云われている。



烏遍舞 (長嶺)

各人が頭に折烏帽子をかぶり、ホウ面を着けてピンゴのタナ(白布)を垂らす。肩に打越をかけ、右手に太刀、左手にはシデを持つ。



鳥舞 (大里)

だんぶり長者が飼育していた鳥の舞。3人の童子が雄鶏、雌鶏、雛鳥を演じ、雄が右手に鈴、全員が日の丸扇子を持って舞う。



五大尊舞 (谷内)

金剛界大日如来、胎藏界大日如来がだんぶり長者に化身し、それに四大明王が仕えた様を舞うもの。だんぶり長者の舞と呼ばれる。



工匠舞 (大里)

大日靈貴神の御神体を刻む様子を舞にしたもの。パチドウ舞とも呼ばれている。非常に動作がゆっくりした舞。



田楽舞 (小豆沢)

だんぶり長者夫婦が農夫の耕作の労を慰めるために始められた舞。日本各地に伝わる田楽舞の中で最古の形と云われている。

四つの集落が受け継ぐ、七つの舞。

大日堂舞楽で奉納される舞は、全部で9種類。そのうち、各集落だけが担当するものが7種類ある。その舞については、他の集落のものが踊ることはない。それぞれに意味があり、ずっと口伝だけでリズムと舞が伝えられてきた。

「ここで舞を奉納することは、神様への祈りを捧げること。能衆(舞を踊る人たち)には、社会的な地位が与えられた上に、経済的にも保証されていました。そうすることで、神様へ奉納する舞を大切にしてきました。

舞を継承するものは優遇され、守られてきた。神への信仰心の強さが生み出したシステム

八幡平地区のほとんどは標高が高く豪雪地帯。厳しい自然の中で暮らしていた人々が、自然への畏敬の念を抱きながら心の拠り所としていたのが、この「大日靈貴神社」こと「大日堂」だったであろうことは、容易に想像できる。奈良時代の行基が訪れた際、同行した染人によってもたらされたという舞。それは、神様へ奉納する舞となった。

でも、「花輪ばやし」は商人のお祭りであり、明るく華やかな夏のお祭りだ。一方、大日堂舞楽は厳かであり、自然を相手にして生活をしてきた人たちの祈りが形になったもの。今思えば、拝殿で感じたのは1300年という時を経て、今なお受け継がれ、そこに在り続ける、人々の祈りだったのではないだろうか。自然を尊び、信じて祈りを捧げてきた「神」への思いが、大日堂舞楽の根源になっている。

厳しい自然と共に生きること。それは、神を信じ、神に祈ること。

も関わらず、唐突に強めに雨が降り出した。早足で雨から逃れるように拝殿に入ったそのとき、初めて感じる感覚に陥ったことが忘れられない。ここには、何かがある。目に見えないものだけど、ここにしかないものが、確かに存在する。静かに、音を立てることはなく、それでも揺るがない確固たる何か。

同じ鹿角のお祭りでも、「花輪ばやし」



保存会の会長として、大日靈貴神社の宮司として、この祭りを守り続けている安倍さん。続けていくことの難しさと大切さを実感していると語ってくれた。



米代川源流の清廉なせせらぎ、源泉かけ流しで愉しむ「美人の湯」、そして秋田の地が育んだ旬の味わい。贅を尽くした癒しのひとときを――。



1. 湯瀬渓谷が眼前に広がる、開放的な新浴場。2. 「美人の湯」でお肌への効果を実感して。3. 米代川のせせらぎが聴こえる露天風呂。4. 木の香りたどよう純和風仕様の客室。5. 地元秋田の季節感溢れる食材にこだわっています。6. 四季折々で姿を変える「自然庭園」を一望できるラウンジ。



KAZUNO-DE OSHIGOTO

鹿角の企業と、そこで働く元気なワカモノたち。



経由地として選ばれるのではなく
目的地として鹿角が選ばれるよう
魅力を発信していきたい。

湯瀬ホテル（株式会社せせらぎ宿）
島山伊吹さん（22歳）

「私のオススメは十和田湖のヒメマス。お刺身が有名ですが、なめろうにして食べるのが大好き」と話す島山さん。休日も釣りに出かけたりとアクティブ。

大 日靈貴神社から八幡平の山の方へと車を走らせること約20分。少しづつ標高があがり、湯瀬渓谷に差し掛かった。紅葉シーズンを迎え、色づいた木々が迎えてくれた。
「鹿角に住む人なら、一度は訪れたことがある場所です」と案内してくれたのは、湯瀬渓谷にほど近い場所にある「湯瀬ホテル」で予約受付の担当を行っている島山伊吹さん。

「一度は東京に出たほうが良いという両親の勧めもあって、高校を卒業後、東京で医療事務の仕事に就きました。2年ほど勤めていましたが、次第に変化のない毎日疑問を感じるようになり、当時、母が独りで家族の世話をしているの大変だということも聞いていたので、思い切って秋田に戻る決心をしました。」
鹿角・八幡平出身である島山さん。戻ってから本格的に職探しをスタートしたところ、このホテルの求人を見つけた。「子どもの頃から馴染みのあるホテルだし、事業譲渡されて経営が変わったことも知っていました。どんなふうになっているのかなという興味もあって、受けることにしました。」

島山さんが湯瀬ホテルに入社して、間もなく3年。現在は電話での予約受付だけでなく、Webプロモーションやマーケティング、さらには館内案内や改装のデザインまで担当しているという。さまざまな業務を担当しているが、どんなところにやりがいを感じるのだろうか。
「わかりやすいのは成果が数字で見えるWebプロモーションの部分。今は予約のほとんどがインターネットからなので、予約に直結する業務にとてもやりがいを感じています。とはいえ、ホテルとしてお客様に満足していただけるサービスを提供するためには、枠にとらわれず、他部署のことも知らなければと思い、積極的にホテル全体のことを勉強していま

す」と意気込みを聞かせてくれた。
「二度、秋田を出たことで改めて鹿角の良さ気づきました。もちろん、東京には東京の良さがあるとも思います。せっかく鹿角で仕事ができ、鹿角の良さを発信できる環境に居られるので、もっとこの良いところを明確にお客様に伝えられるようになりたい。そして、経由地として鹿角を選ぶのではなく、鹿角を目的地として来ていただけるよう発信していきたいです。」
大好きな故郷を盛り上げたいという一心で、彼女はこれからも湯瀬ホテルから鹿角の魅力を発信し続ける――。

KAZUNO-DE
OSHIGOTO
YUZE HOTEL ★ IBUKI HATAKEYAMA

湯瀬ホテル 〒018-5141 鹿角市八幡平字湯瀬湯端 43 番地 TEL: 0186-33-2311 FAX: 0186-33-2118 <http://yuzehotel.jp/>

未来輝く、鹿角の企業を紹介！ あなたも鹿角で充実した暮らしをしませんか？



鹿角の元気いっぱいな企業と、そこで働く若者たち。そして経営者たちを紹介しています。移住を検討している方、鹿角に帰ろうかと考えている首都圏の鹿角出身者は必見です。

○鹿角の企業いいね！

<http://www.city.kazuno.akita.jp/iine/companyinfo.html>



○鹿角の企業いいね！動画

<http://www.city.kazuno.akita.jp/iine/companyvideo.html>



お問い合わせ | 鹿角市役所 産業活力課 商工振興班 〒018-5292 秋田県鹿角市花輪字荒田4番地1 ☎ 0186-30-0250 FAX 0186-30-1515

GOOD JOB KAZUNO

鹿角の魅力は尽きることがない。やっぱり鹿角いいね！



すがばあ
**寿賀婆を
めざせ!**

愛情たっぷりレシピ

料理は愛情!

[本日のレシピ] 南蛮味噌



寿賀婆お手製の南蛮味噌。南蛮の辛さに、麴の甘さが見事にマッチングしていて、辛いんだけど旨味と深みがある味わい。「辛〜っ!」といつつ、すぐまた食べたくなる。作り方を聞くと分量は豪快だが、作り方は繊細。そうそう、忘れがちですが、実は寿賀婆、とても女らしい人なんです。そしてレシピ聞いて衝撃。味噌といつつ、味噌入ってない。

作り方

ピーマン 1kg、醤油 1升、ざらめ 1kg、青南蛮 10本、麴 2kg

レシピ
ピーマンの種を取り、ざく切りにしてミキサーにかけます。それを鍋に入れ、ザラメを加えて青南蛮と醤油を加え、沸騰したら火を止めて一晩置く。粗熱が取れたものに麴を入れ、30分〜1時間置く。最後はとろ火で2時間練り続けて出来上がり。

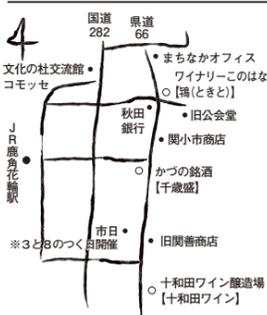
おふくろの味 寿賀

場所は花輪・親不孝通り。御年80歳を超えた寿賀婆(本名:浅石シガさん)が織り成す、めくるめく寿賀ワールドへようこそ。
鹿角市花輪字環向11
☎0186-23-3192
営業時間 17:00〜23:00
定休日 不定休



十和田ワイン醸造場
マルコー食品工業株式会社
〒018-5201
秋田県鹿角市花輪
新田町37

* 花輪の醸造ストリート *



今宵の一献

◆「十和田ワイン」マルコー食品工業
私の家が酒屋だからなのもありますが、鹿角といえば「十和田ワイン」が当たり前でした。市内はもとより、全国でも名の通っているワインです。物心が付くずっと前から店内に並び、ラベルも変わらず、いつも傍でそっと佇んでいる、そんなワインです。
鹿角のある北東北は「十ホンヤマブドウ」の産地。十和田ワインで使用されているのは十和田八幡平を中心とした土地で自生、栽培されたヤマブドウをブレンドして造られています。ヤマブドウ由来のほんのりとした甘みが懐かしさを呼び起こします。
数年前には長期熟成したプレミアム版

◆「花輪の醸造ストリート」
花輪商店街メインストリートには3軒の醸造所が並んでいます。
市日や旧家、商店街を散歩がてら覗いてみてはいかがでしょう。※蔵の見学は行っておりません(ワイナリーにはなは事前にお問い合わせください)。
「エビカツラ」が復刻。
また紅玉などのりんごを使用したアップルワインや、甘酒の素「あまちこ」も根強い人気。
どれも保存料や酸化防止剤は無添加です。

「ワイン懐石・銀座 囃 shiya (はやしや)」

鹿角出身のフードプロデューサー林さんが手がけています。旬の野菜をふんだんに使った美しい料理と厳選した日本ワインの数々。看板メニューのハヤシライスがランチで大人気。限定35食なので早めに!
〒104-0061 東京都中央区銀座3丁目8番13号 KOSEI BLD.B1F
銀座線、丸ノ内線、日比谷線 銀座駅 A12出口から徒歩2分
電話 03-3535-2227 (予約受付時間 17時〜19時)
カウンター10席の小さなお店ですご予約をお願いします。

今宵の一献

お題
鹿角といえば
「十和田ワイン」!

株式会社関小市商店

1933年創業の「関小市商店」は花輪アーケード商店街にある酒販店。店内には全酒類を網羅しており、地元の酒販店として親しまれている。5代目にあたる看板娘の佐藤景子さんは、母である現社長と二人三脚で経営。
鹿角市花輪字中花輪132
☎0186-22-1255
営業時間 9:00〜20:00
年中無休

われら地域おこし協力隊

松村託磨隊員 & 菜摘隊員

私 たち夫婦が鹿角へ地域おこし協力隊としてやってきて、今年で3年目。生まれ故郷である大阪で暮らしていましたが、職場と自宅を往復するだけ、週末も打ち込めるものがない。そんな単調な毎日を過ごし、将来への漠然とした不安を感じるようになっていた私たちが辿り着いたのが、鹿角への移住でした。今は「移住コンシェルジュ」として、移住を検討している方のお手伝いや、首都圏での移住フェアを開催し、鹿角のPRのお手伝いをしています。
鹿角に移住した当初、驚いたのは、玄関の前に野菜が置かれていたこと。都会では、誰が置いたものかわからない野菜は絶対に食

べないですし、正直最初は「怖い」とさえ感じました。後々ご近所の方が分けてくださったのだと知り、鹿角の人の優しさとその環境に驚きました。ここでは、地域のコミュニティーがしっかりとできており、それによって自分たちが安心して暮らせるようになっていんだなと実感したできごとでしたし、皆さん、私たち移住者を温かく迎え入れてくれました。移住する人にとって、とても入りやすくてオープンな地域です。それと、鹿角には良い温泉が身近にたくさんあって、仕事帰りにでも行けるのが嬉しい。露天風呂から鹿角の大自然を眺めるのが、本当に贅沢ですね。

鹿角は人の温かさを
感じます!



必食 KAZUNO
愛されグルメ

栗山飯店の黒酢あんかけ焼きそば (800円・税込)



栗山飯店
鹿角市花輪下中島71
☎0186-23-3395
営業時間 11:30〜14:00
17:00〜21:00

ランチタイムに、夕食どきに、飲んだ後の締め。さまざまにシチュエーションで鹿角市民の胃袋に長年寄り添い続けてきた中華料理店「栗山飯店」。気がつけば足を運びたくなるような、温か家庭的な雰囲気のあるお店だ。
こちらのおすすめは「黒酢あんかけ焼きそば」。肉と野菜がたっぷりの餡から漂ってくる黒酢の香りに食欲がそそられる。ツルツルとしたコシのある麺には餡がしっかりと絡み、箸の進みも早くなる。どっしりとしたボリュームのある一皿だが、黒酢が効いているおかげで最後までさっぱりとした口当たり、おすすめにふさわしい一品だ。
この他にも定番の中華丼や、飲んだ後に締めたい鶏ラーメン、ランチタイムのお得なセットなどメニューの豊富さも魅力。「今日はどれにしようかな?」とあれこれ悩みながらもメニューをえらぶのもこの店の楽しみひとつだ。



夢先生

夢を持つことの大切さ。
仲間と協力することの大切さ。

日本サッカー協会が主催するJFAこころのプロジェクト「夢の教室」は、鹿角市での開催が8年目を迎えます。今年も鹿角の子どもたちの夢に寄り添い続けます。



2017年9月12日尾去沢小学校にて。夢先生：市来崎大祐先生(武術太極拳)

http://www.jfa.jp/social_action_programme/yumesen/

ユメセン

検索





KAZUNO INFORMATION

鹿角の美味しいもの、おもしろいもの。鹿角への思いを馳せるモノ。



KAZUNO SERVICE STATION
ANTLER

道の駅 鹿角 あんたらあ 直売所情報

道の駅かつの あんたらあ

国道282号線沿い、十和田湖と八幡平を結ぶ観光拠点「道の駅かつの あんたらあ」。祭り展示館では、今回特集でご紹介した「花輪ばやし」の豪華絢爛な屋台が勢ぞろい。祭りの賑やかさがいつでも体験できます。また、手作り体験館では、きりたんぼや南部せんべい、組み木細工の体験ができます。このあんたらあ内にある「観光物産プラザ」の直売所でおすすめの商品4アイテムをご紹介します！

鹿角不思議研究所

言 超常現象 霊

古代遺跡



未確認生物

去る10月14日、鹿角きりたんぼFM開局4周年記念の特別番組が放送され、鹿角市内のミステリースポットからの中継を行ないました。ゲストには鹿角不思議研究所でも馴染みミステリー雑誌月刊「ムー」のメインライターで超常現象研究者としても知られる並木伸一郎氏（東京都在住）と、秋田奇々怪会会長・鈴木陽悦氏（秋田市在住）のお二人をお招きし、県内外からも参加した皆さんと共にミステリースポット4カ所をご案内しました。今回は、大湯環状列石と黒又山周辺、花輪スキー場周辺と最後に史跡尾去沢鉱山のコースですが、これらは県内外のミステリーファンには人気のミステリースポットとしても知られる場所です。鹿角不思議研究所では、今後も番組を通して鹿角のミステリアスなものを全国へ発信していきたいと考えていますので、お楽しみに！

※「鹿角不思議研究所」は、鹿角きりたんぼFMで放送している架空の研究所の番組です。

鹿角不思議研究所、放送のご案内



鹿角の元気にスイッチオン!

鹿角きりたんぼFM

http://fm791.net

鹿角きりたんぼFM (79.1MHz) 毎週月曜午後1時から放送
再放送：水曜午前9時～、木曜午後2時～、土曜夜7時～
番組blog：http://fusigikenkyujoyo.blog.jp/
facebook：https://www.facebook.com/kazunofusigi/

FM79.1MHz



安保金太郎商店
鹿角産あきたこまち・萌えみのり
つややかで美しい見た目とほぐれ具合が絶妙な食べ応えのある鹿角市自慢のお米。寒暖差の激しい鹿角ならではの環境で育ったお米が、いつもの料理をより美味しく引き立てます。



浅利佐助商店
PREMIUM 比内地鶏鍋つゆ 醤油・塩
秋田県産比内地鶏の鶏ガラを贅沢に使用しただしをベースに、秋田県産の大豆醤油と比内地鶏の鶏脂を加え味を整えました。一人前が6袋入りで小分けで使えるのが便利で嬉しい！



御菓子司 小田 だんぶり長者
大日堂舞楽をイメージしたパッケージの中身は、鹿角市特産の果物「マルメロ」が入った餡を包み込んだ焼き菓子。しっとりとした食感とマルメロの甘い香りはコーヒーやお茶との相性抜群。



お菓子のさこう けいらん
鹿角市に古くから伝わる懐石料理「けいらん」に見立てて作った和菓子。くるみと胡椒が入った餡を白玉で包んだ姿は鶏卵そっくり。甘さと辛さの不思議なハーモニーを楽しんで。

KAZUNO EVENT スケジュール 12月～1月

12月1日(金)～1月上旬 鹿角花輪駅前 巨大クリスマスツリー
開催場所：JR鹿角花輪駅前ロータリー
開催時間：17:00～24:00 (ライト点灯時間)
問い合わせ先：花通り商店街振興組合
電話：0186-22-0383

12月23日(土) スノーシュー体験ツアー ご隠居を訪ねて泥火山へ
【参加費：500円～1,000円、定員12名】
※スノーシュー無料レンタルあり、ウェア、長靴レンタルは有料
集合場所：秋田八幡平スキー場レストハウス 開催時間：9:30～11:30
問い合わせ先：自然公園財団八幡平支部
電話：0186-25-8846

12月3日(日) 鹿角市民俗芸能フェスティバル～秋田の獅子と駒籠～
【入場料：500円(当日券800円) 11/1よりチケット発売中】※未就学児入場不可
開催場所：鹿角市文化の交流館コッセ 文化ホール
開催時間：13:00～(開演12:30～)
問い合わせ先：コモッセチケットダイヤル
電話：0186-30-1504

12月24日(日) スノーシュー体験ツアー 大沼雪原とブナの森を歩こう
【参加費：500円～1,000円、定員12名】
※スノーシュー無料レンタルあり、ウェア、長靴レンタルは有料
集合場所：八幡平大沼茶屋湖 駐車場 開催時間：9:30～11:30
問い合わせ先：自然公園財団八幡平支部
電話：0186-25-8846

12月17日(日) 「えのぐ箱」の美術館でクリスマスリースを作ろう！
【参加費：1,000円～2,500円、定員10名】
集合場所：民宿えのぐ箱別館 駐車場
開催時間：10:00～14:00
問い合わせ先：自然公園財団八幡平支部
電話：0186-25-8846

1月2日(火) 大日堂舞楽
開催場所：大日堂神社 開催時間：8:00～12:00
問い合わせ先：秋田県鹿角市(観光担当)
電話：0186-30-0248



ACCESS

◇お問い合わせ先

鹿角市役所(観光担当)
TEL.0186-30-0248
秋田県鹿角市花輪字荒田4-1
http://www.city.kazuno.akita.jp/
(株) かつの観光物産公社
TEL.0186-22-0555
秋田県鹿角市花輪字新田町11-4
http://www.ink.or.jp/~antler/

列車を利用する場合 ※最速の時間を表示(要時刻表参照)

東京	東北新幹線	盛岡	花輪線	鹿角花輪
	2時間11分		2時間	
秋田	奥羽本線	大館	花輪線	鹿角花輪
	1時間33分		1時間	
青森	奥羽本線			
	1時間10分			

高速バスを利用する場合 ※最速の時間を表示(要時刻表参照)

盛岡	「あすなろ号」 1時間31分 「みちのく号」 1時間20分	小坂	1時間13分	青森
仙台		鹿角花輪	56分	大館
池袋	3時間45分 夜行バス「ジュピター号」 8時間30分		56分	鹿角花輪
			2時間15分	能代

航空機を利用する場合 ※便によっては運休期があります

東京(羽田)	ANA	65分	大館能代	相乗りタクシー(要予約)	鹿角
札幌(新千歳)	JAL・ANA	50分		リムジンバス(大館まで)	
東京(羽田)	JAL	75分	青森	車で60分	
名古屋(小牧)	JAL	85分		車で60分	
大阪(伊丹)	JAL・ANA	95分	いわて花巻	車で80分	
札幌(新千歳)	JAL	55分			
名古屋(小牧)	FDA	85分			
大阪(伊丹)	JAL	90分			
福岡	JAL	125分			

車を利用する場合

◆鹿角八幡平ICを利用した場合

盛岡IC	1時間	鹿角八幡平IC
八戸IC	1時間	
仙台宮城IC	3時間	
浦和本線	6時間30分	

◆十和田ICを利用した場合

大鰐弘前IC	40分	十和田IC
青森IC	1時間	

◆国道7号または285号経由103号を利用した場合

秋田市	2時間30分	鹿角市
-----	--------	-----

鹿角のいいもの、ここにあります! 鹿角いいね!直売所

インターネットで鹿角の特産品が買える!きりたんぼ、かつの牛、地酒、鹿角りんご、などなど。鹿角のいいね!を探してみよう。



鹿角いいね!直売所 人気ランキング

第1位 みそつけたんぼセット(1,000円・税込)
岩船屋
味噌の香ばしい香りがたまらない秋田県産のうるち米で作ったたんぼ5本と、味噌だれが付いたセットです。家庭で簡単にみそつけたんぼが食べられる!

第2位 しそまきあんず(2,268円・税込)
刈谷食品
鹿角に古くから伝わる郷土料理「しそまきあんず」。杏をしその葉で巻き、長時間漬けたんだ。伝統的なお茶づけです。しその香りと杏の甘酸っぱさは相性バグッソ。

株式会社かつの観光物産公社 ☎0186-22-0555
tanpo18@ink.or.jp FAX 0186-22-0222 〒018-5201 鹿角市花輪字新田町11-4

特産品販売サイト 鹿角いいね!直売所
http://kazuno-iine.com/store